

施設所管課室評価様式

1 評価対象及び評価者

(1) 評価対象年度	令和 5 年度	(2) 整理番号	12
(3) 施設名	和歌山県立白崎青少年の家		
(4) 所管課室	共生社会推進部 こども家庭局 こども未来課		
(5) 評価者(所管課室長名)	課長 戎脇 伸晃		

2 評価内容(5段階評価)

(1) 施設効用の最大限発揮	評価	4 (優れている。)
<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響により減少した施設利用は回復傾向にあるが、夏休み期間中に2度の台風接近に伴うキャンセルが発生したこともあり、コロナ禍以前の状況までには戻り切っていない。</li> <li>・自主事業(主催事業)について、釣り体験や磯観察、化石発掘体験など白崎という地域の資源を活用したプログラムを展開し、地曳き網体験や魚裁き体験など地元漁協とも連携して事業を実施しており、事業運営は適切なものである。また、地元新聞社やケーブルテレビ等への掲載や放送の依頼や、県内小学校へのイベント募集チラシの配布による営業活動、ホームページやSNSによる実施状況掲載など積極的に情報発信を行い、施設に興味をもってもらうための活動を実施している。</li> </ul>		
(2) 効率的な管理運営	評価	4 (優れている。)
<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物価高や光熱水費の高騰等の影響を強く受け、収支としては赤字となったが、日頃から節電・節水に努め、簡易な修繕や清掃作業を職員で実施することで施設の管理運営経費の縮減を図っている。</li> </ul>		

3 総合評価

<p>施設の設置目的に沿った適切な事業実施及び管理運営が行われている。</p> <p>また、新型コロナウイルスの影響による収入の減少や物価等の高騰により厳しい運営が続く中、感染症対策の徹底や経費縮減を意識しながら、適切に運営を行っている。</p> <p>地域における青少年活動の拠点として、各種青少年育成団体等と連携を図りながら地域に貢献する施設として十分役割を果たしている。</p> <p>令和5年度からの指定管理において、平成18年度から続いていた企業体(2社)から単独企業での運営となったが引き続き指定管理者として認定を受け、長年のノウハウを活かした施設の管理運営を行い、利用者の増加等に積極的に取り組まれない。</p>
---